

シリーズ

空から眺めた「うるまの美ら風景」

① ビオスの丘



うるま市には島々や自然環境など、東海岸唯一の美しい風景が沢山あります。鳥の視点で空から眺めてみると、この島の風景に感動されると思いますが、大切に守り残していきたい素晴らしい風景を上空からの写真で紹介しましょう。

最初に紹介するのは、石川嘉手苺の小高い丘にある「ビオスの丘」。

那覇空港を離陸したセスナ機は東海岸の太平洋上を勝連半島に機首を向け飛行。約12分であうるま市の上空に、ここで米軍の管制にコンタクトしてビオス上空の撮影飛行の許可を待つ。しばらくスタンバイを待っていると上空クリア撮影OKを確認！

直ぐに機首を下げ「ビオスの丘」に向け飛行。眼下に広大な植物園が見えてきました。さらに高度を下げてみると湖面に観光船やカヌーが動いています。湖畔には熱帯植物シダの群生も見えます。ココは凄い！

うるま市で西表島のような亜熱帯ジャングルの自然体験が出来る。いいですねココの風景！

ご家族でのんびりと「ビオスの丘」で、心地よい亜熱帯植物の香りに癒されてみてはいかがでしょうか。



写真と文／
航空写真家
寺下 昌信

寺下氏は34年間に渡り日本各地の風景を飛行機から撮影。これまで4300時間の空撮飛行に費やし、その卓越したカメラアングルと技術で、沖縄本島をはじめ、各島々の美しい自然を撮り続けている。

これまで、うるま市誕生記念で「上空から見たうるまの美ら風景」、県立中部病院や県立南部医療センター・こども医療センターで写真展を開催し、訪れた人へ癒しを提供。